

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策の柱】 (1)誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進

細 施 策	①共生意識を醸成するための相互理解の推進							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	・多文化共生・国際交流を推進していくための拠点として、国際交流センターを活用し、外国籍市民と相互理解が深まるような事業の支援に努めます。 ・外国籍市民会議の開催や外国籍市民国際人材ネットの充実を図り、外国籍市民の活用や地域社会への参画を促進します。								
前年度の改善の方策等	新たに国際交流センターのリーフレットを作成するなど、国際交流センターの周知を図り利用者増に努めます。								
平成29年度実績	・国際交流センターリーフレット(日・英・中)を作成 ・日本語教室「クラスで日本語」週9回 年間406回開催 ・国際理解講座「おもてなしスペイン語」全10回、「おもてなし韓国語」全7回 ・川越市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催全36回 ・外国籍市民会議全6回開催 ・外国籍市民国際人材ネット(K-net)登録者数35名 ・市民団体と連携した国際関係イベント開催(多文化交流、高校進学相談)								
指標及び説明	【指標】 外国籍市民と日本人市民との年間交流者数				【説明】 国際交流センターでの各種講座や姉妹都市との相互訪問などによる外国籍市民と日本人市民との年間交流者数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
	人	7,722	H27	H28	H29	H30	H31	H32	8,500
現状・課題	国際交流センターでの日本語教室、各種講座の開催、外国籍市民会議による意見交換、国際関係イベントなどを実施し、順調に進捗しています。								
改善の方策等	国際交流センターが新たな外国籍市民に利用されるよう引き続き周知に努めます。								

細 施 策	②外国籍市民への支援							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	B
施策の内容	・外国籍市民のための日本語教室や市民相談を充実させるとともに、多言語による案内表示や情報提供を実施することで、海外からの来訪者や外国籍市民にとって、訪れやすく住みやすいまちづくりを目指します。 ・市内大学の留学生を支援するとともに、卒業後に市内での就労を希望する留学生が、市内企業に就職できるような取組を検討します。								
前年度の改善の方策等	日本語教室等の周知を図り、参加者の増加に努めるとともに、留学生については市内大学と連携して支援方法を模索していきます。								
平成29年度実績	・日本語教室「クラスで日本語」週9回 年間406回開催 ・生活相談(日本語・中国語)月2回、(日本語・ポルトガル語)月2回 ・法律相談月1回、在留資格相談月1回 ・広報川越英語版の発行、年間12回 ・コミュニケーションシート(言語確認用、非常時編)を5言語で提供(前年度外国籍市民会議で検討、作成は観光課) ・国際交流センター受付業務を留学生に依頼、外国籍市民会議委員として留学生が参加								
指標及び説明	【指標】 外国籍市民の日本語教室への参加者数				【説明】 国際交流センターで実施する日本語教室への外国籍市民の参加者延べ人数				
指標の推移	単位	現在値(H26)	実績値					目標値(H32)	
	人	3,373	H27	H28	H29	H30	H31	H32	3,900
現状・課題	日本語教室、相談事業、情報提供など外国籍市民への支援事業を実施しました。日本語教室については、平成28年度に需要が一時的に増加したものと捉えています。内容的には、おおむね順調に進捗しています。								
改善の方策等	日本語教室等の周知を図り、参加者の増加に努めるとともに、留学生については市内大学と連携して支援方法を模索していきます。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(1) 誰もが暮らしやすい多文化共生のまちづくりの推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	① 共生意識を醸成するための相互理解の推進	国際文化交流課	A	A	A
	② 外国籍市民への支援	国際文化交流課	B		
学識経験者等	<p>・留学生であっても日本語の理解が不十分である学生や漢字が苦手な学生がいる。市内大学の留学生に対してどのような支援があるのか、大学の方に、わかりやすい方法で案内していただきたい。</p>				

細 施 策	①人材の発掘と育成							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	・東京オリンピックのゴルフ競技の本市での開催をきっかけに、市内大学等と連携を図りながら、各種講座や研修会を実施するなど、国際感覚に優れた市民の育成に努めます。 ・日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティアの活動を支援し、その活動を通じて、異文化への理解や相互扶助といったボランティア意識の向上に努めます。								
前年度の改善の方策等	市民ニーズに対応できるよう講座募集者数を増やし、人材育成講座の受講者数の増加に努めます。								
平成29年度実績	・日本語指導員養成講座を東京国際大学と連携して開催、全40回 ・国際理解講座「おもてなしスペイン語」全10回、「おもてなし韓国語」全7回 ・川崎市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催、全36回 ・日本語ボランティア登録者数201名、通訳・翻訳ボランティア登録者数77名								
指標及び説明	【指標】 国際交流センターでの人材育成講座の受講者数				【説明】 国際交流センターでの人材育成講座の年間延べ受講者数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	982	1,738	1,861	2,340			1,500	
現状・課題	日本語指導員養成講座、国際理解講座、中国語講座などの人材育成講座を実施しました。人材育成に係る講座の受講数は増加傾向にあり、順調に進捗しています。 課題としては、要望の多い講座は抽選を行い絞り込みをするなど、需要に対応しきれていないことがあげられます。								
改善の方策等	市民ニーズに対応できるよう講座募集者数を増やし、人材育成講座の受講者数の増加に努めます。								

細 施 策	②国際交流に関係する市民団体等との協力と連携							担当課	担当課評価
								国際文化交流課	A
施策の内容	・国際交流や国際協力に取り組む市民や市民団体と連携を取りながら、地域の国際化を推進していきます。 ・さまざまな交流事業の充実を図るため、市民や市民団体、行政などがそれぞれの役割を担うとともに、相互理解を図り、ネットワークの構築に努めます。								
前年度の改善の方策等	引き続きボランティアと連携して国際化を推進するため、日本語ボランティアとの意見交換会やレベルアップ研修会などのサポートの充実に努めます。								
平成29年度実績	・日本語教室「クラスで日本語」での日本語ボランティア、年間406回活動 ・通訳・翻訳ボランティア、年間45件活動 ・外国籍市民国際人材ネット(K-net)年間2件活動 ・国際貢献事業補助金4件								
指標及び説明	【指標】 ボランティア活動者数				【説明】 国際交流センターで実施する日本語教室、外国籍市民を支援するボランティア事業及び通訳・翻訳ボランティア、外国籍市民国際人材ネットのボランティア活動者延べ人数				
指標の推移	単位	現在値 (H26)	実績値					目標値 (H32)	
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	人	2,666	2,795	3,154	3,322			3,000	
現状・課題	日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティア、外国籍市民ボランティアとの連携事業や国際貢献事業補助金交付事業などを市民団体等と協力、連携し、実施しました。ボランティア活動者数も増加しており順調に進捗しています。								
改善の方策等	引き続きボランティアと連携して国際化を推進するため、日本語ボランティアとの意見交換会やレベルアップ研修会などのサポートの充実に努めます。								

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(2) 国際感覚に優れた市民の育成			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人材の発掘と育成	国際文化交流課	A	A	A
	②国際交流に関する市民団体等との協力と連携	国際文化交流課	A		
学識経験者等	<p>・オリンピックを目前に控えて、学生のボランティア活動などで外国人観光客に川越のまちを英語で案内しようという動きが出てくる可能性が考えられる。若い世代の国際交流につながることもあるので、情報収集及び状況の把握に努めていただきたい。</p> <p>・川越のまちを案内するためには川越の歴史・文化を知っている必要がある。川越の歴史の理解と外国人に対する英語での案内は結びついている。うまくマッチングさせてボランティアの養成等も行っていただきたい。</p>				A

【方向性】Ⅳ－多文化共生と国際交流・協力の推進 【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進
 【施策の柱】 (3)姉妹・友好都市交流の充実

細 施 策	①姉妹・友好都市との交流事業の充実			担当課	担当課評価
				国際文化交流課	A
施策の内容	・川越市姉妹都市交流委員会と連携し、多文化共生に向けた異文化への理解を図るため、より多くの市民が関わることができる交流事業の実施に努めます。 ・姉妹・友好都市との交流協力関係を深めるため、次世代を担う青少年の相互派遣事業については、関係機関とも連携しながら、事業内容の充実を図ります。				
前年度の改善の方策等	引き続き姉妹都市との良好な関係を保てるよう、連絡調整を密にし、交流事業の充実に努めます。				
平成29年度実績	・中札内村訪問中学生交流団の派遣、中札内村中学生川越市訪問事業の受入 ・セーレム市訪問中学生交流団の派遣 ・オッフエンバッハ市青少年交流団の受入 ・市立川越高等学校生徒が姉妹校ノースセーレム高校を訪問 ・川越商工会議所とオッフエンバッハ商工会議所の日独ビジネス研修生交換プログラムに協力				
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29	
	姉妹・友好都市交流件数(5年間の平均件数)	27.4	28.0	27.0	
現状・課題	例年どおり中札内村との中学生の相互交流事業を実施しました。 また海外姉妹都市とは、セーレム市への中学生交流団派遣、オッフエンバッハ市からの青少年交流団の受入など、2年に1度の交流事業を実施し、順調に進捗しています。				
改善の方策等	引き続き姉妹都市との良好な関係を保てるよう、事業に際しては連絡調整等を丁寧に行っていきます。				

細 施 策	②さまざまな地域との新たな交流の創出			担当課	担当課評価
				国際文化交流課	A
施策の内容	・外国籍市民や留学生を通して、さまざまな国の文化や伝統について学ぶ機会を創出します。 ・姉妹・友好都市とは別に新たな地域との分野を特定した交流事業について検討するなど、市民にさらなる国際交流や異文化理解の場を提供していくよう努めていきます。				
前年度の改善の方策等	市民等と連携した国際関係イベント等の開催を支援し、さまざまな国の文化や伝統について学ぶ機会のさらなる創出に努めます。				
平成29年度実績	・川越市日本中国友好協会の主催する中国語講座を共催(全36回) ・かわごえ国際交流フェスタ、日タイ修好130周年記念イベント、川越唐人揃いパレードなど、さまざまな交流やイベントを支援				
成果実績	項目名(単位)	H27	H28	H29	
	中国語講座受講者述べ人数	394	412	709	
	国際関係イベント件数	3	4	5	
現状・課題	外国籍市民が最も多い中国に関する講座を開催、スペイン、韓国の国際理解講座開催、さまざまな国の文化や伝統に関する国際関係イベントを支援しました。中国語講座受講者述べ人数や国際関係イベント件数は増加しており、順調に進捗しています。				
改善の方策等	市民等と連携した国際関係イベント等の開催を支援し、さまざまな国の文化や伝統について学ぶ機会のさらなる創出に努めます。				

【方向性】 IV－多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策】 1 多文化共生と国際交流・協力の推進

施策の柱		(3) 姉妹・友好都市交流の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①姉妹・友好都市との交流事業の充実	国際文化交流課	A	A	A
	②さまざまな地域との新たな交流の創出	国際文化交流課	A		
学識経験者等 意見	・民間の団体が行う交流イベントについては定着、継続することが重要なので、引き続き支援していただきたい。				